

# 愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

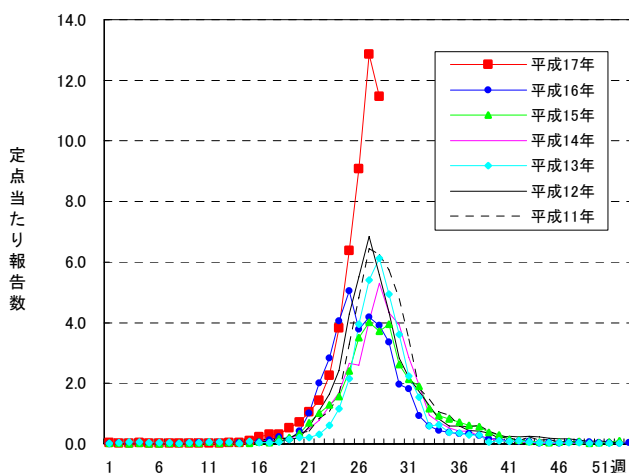
平成 17 年第 28 週(7 月 2 週 7/11~7/17)

《作成》愛知県感染症情報センター

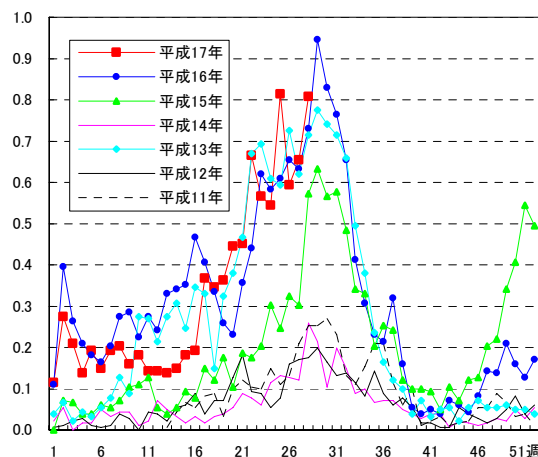
連絡先:052-910-5619 E-mail:eiseiken@pref.aichi.lg.jp

## 流行状況

ヘルパンギーナ



咽頭結膜熱



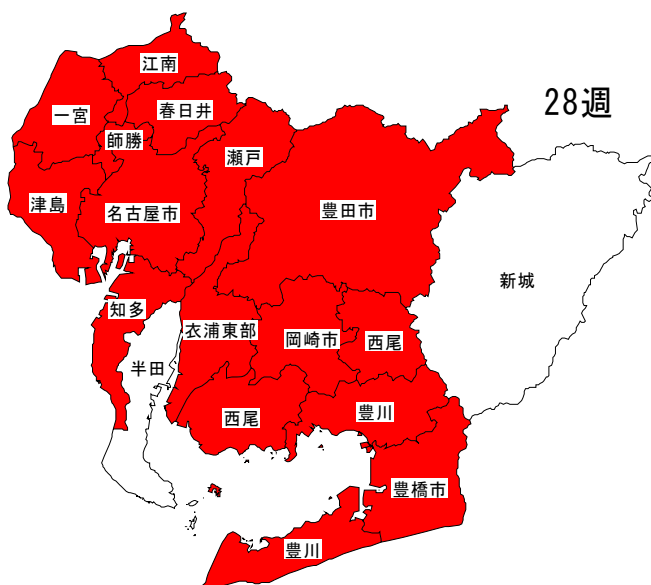
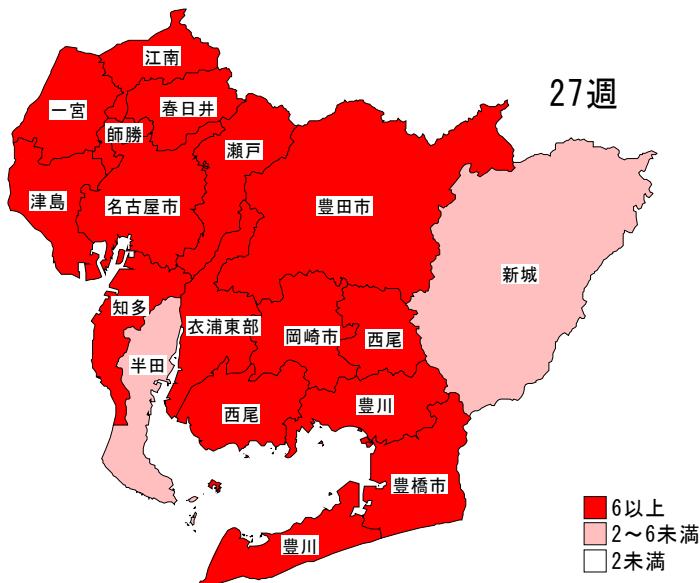
※ その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

疾患名	定点当たり報告数		備考
	前週	今週	
ヘルパンギーナ	12.9 ▲	11.5 ▼	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍
咽頭結膜熱	0.65 ▲	0.81 ▲	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

定点当たり報告数		
▼	減少	→
→	横ばい	▲
		増加

- ◆ 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)
- ◆ 平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>)

# ヘルパンギーナの保健所別報告数の推移(名古屋市含む)

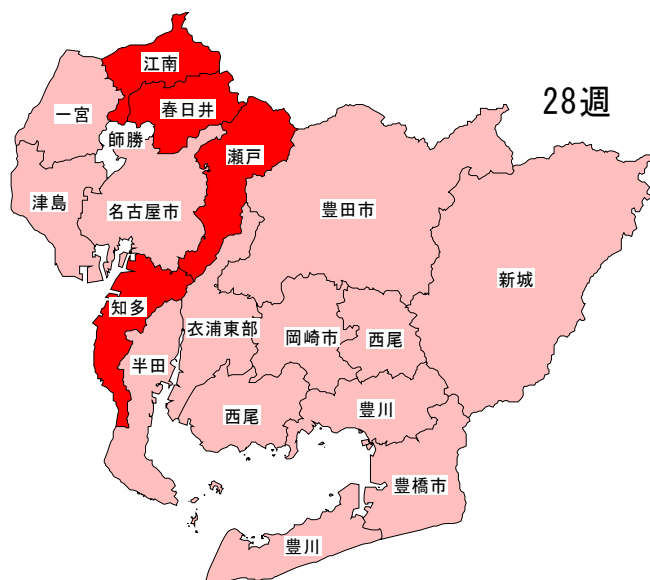
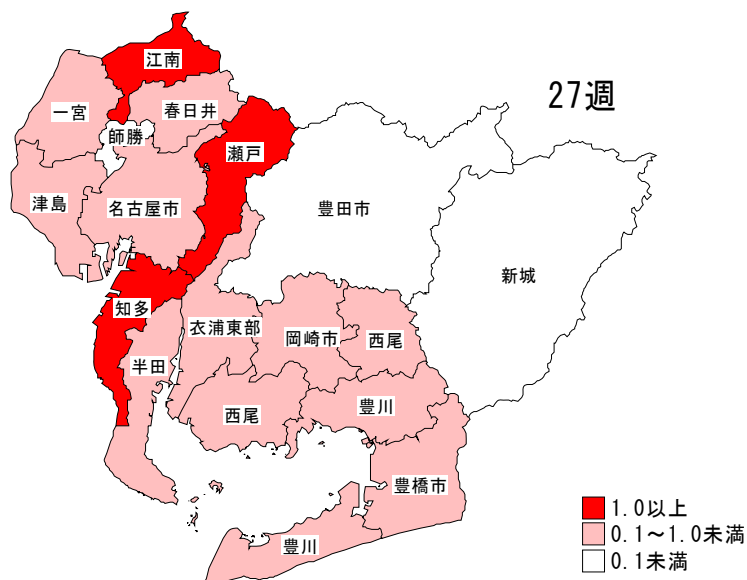


		28週	定点 当たり	27週	定点 当たり
名古屋市	○	432	6.2	530	7.6
瀬戸	○	135	15.0	165	18.3
津島	○	79	11.3	71	10.1
師勝	○	66	16.5	61	15.3
一宮	○	75	6.3	94	7.8
春日井	○	162	18.0	170	18.9
江南	○	98	16.3	129	21.5
半田		11	1.8	15	2.5
知多	○	103	14.7	102	14.6
岡崎市	○	191	27.3	201	28.7
衣浦東部	○	171	13.2	193	14.8
西尾	○	113	22.6	90	18.0
豊田市	○	238	26.4	266	29.6
豊橋市	○	90	11.3	101	12.6
豊川	○	119	14.9	143	17.9
新城		3	1.5	8	4.0

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるヘルパンギーナの流行発生警報は保健所(市) 定点当たり報告数が6人を越えた場合に発生し、2人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



		28週	定点 当たり	27週	定点 当たり
名古屋市		41	0.6	38	0.5
瀬戸	○	31	3.4	20	2.2
津島		3	0.4	2	0.3
師勝		0	0.0	0	0.0
一宮	○	11	0.9	5	0.4
春日井	○	13	1.4	8	0.9
江南	○	6	1.0	6	1.0
半田	○	3	0.5	1	0.2
知多	○	14	2.0	19	2.7
岡崎市		6	0.9	2	0.3
衣浦東部		4	0.3	4	0.3
西尾		1	0.2	1	0.2
豊田市		1	0.1	0	0.0
豊橋市	○	7	0.9	7	0.9
豊川		5	0.6	6	0.8
新城		1	0.5	0	0.0

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり報告数が1人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

- ヘルパンギーナ、ムンプス流行  
サルモネラO4群 2名(1歳男、女)  
カンピロバクター 4歳女  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 病原性大腸菌O1 1歳女、2歳女  
病原性大腸菌O6 33歳女  
病原性大腸菌O18 2歳男、32歳女  
病原性大腸菌O112ac 27歳女  
マイコプラズマ肺炎 21人  
【一宮市 城後小児科】
- オーストラリア旅行帰りの2歳男 インフルエンザA発症  
【稲沢市 稲沢市民病院】
- ヘルパンギーナ減少してきました。  
【犬山市 武内医院】
- ヘルパンギーナ多発  
マイコプラズマ肺炎散発  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 夏かぜ様疾患が主ですが、ヘルパンギーナは減少しています。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- ヘルパンギーナが未だ多発して居ります。  
【春日町 丹羽医院】

### 尾張東部地区

- ヘルパンギーナは流行中  
咽頭結膜熱も又増えてきました。  
カンピロ+病原大腸菌O1 2歳男  
カンピロバクター腸炎 13歳男  
病原大腸菌O1 1歳男  
病原大腸菌O6 7か月女  
細菌性腸炎が増えています。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
- ヘルパンギーナが今週も多くみられ、流行が続いています(口内炎が大きく咽頭に限局するものと、小さな口内炎が口腔内、舌に多数みられるものがあり、手足口病との鑑別が難しい症例が多数あります)。  
アデノウイルス感染症の流行も続いております(咽頭結膜熱も多くみられ、ヘルパンギーナとの混合感染例もあります)。  
その他、マイコプラズマ肺炎、水痘、溶連菌感染症等  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 夏かぜが出てきています。  
【春日井市 春日井市民病院】
- ヘルパンギーナ少々  
アデノ感染症少々  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 今週もヘルパンギーナが流行しています。  
【春日井市 かがわ北病院】
- 嘔気の強い感染性胃腸炎がめだちます。  
【春日井市 竹内医院】
- ヘルパンギーナ流行中  
プール熱も存在  
【小牧市 小牧市民病院】
- 感染性胃腸炎はサルモネラO9 1例  
カンピロバクター 1例  
その他病原大腸菌が種々出ています。  
【小牧市 志水こどもクリニック】
- ヘルパンギーナがまだ多いです。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- ヘルパンギーナ今週も多くみられました。  
【東海市 小児科ハヤカワ医院】
- ヘルパンギーナと咽頭結膜熱が目立ちます。  
【大府市 まえはらこどもクリニック】

### 西三河地区

- 3歳女、4歳女 イムノカードST Str epA (+)  
0歳男 E. coli O18  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- サルモネラO9群 3歳男、7歳女  
病原大腸菌O126(+) 2歳男、11か月男  
病原大腸菌O1(+) 3歳男  
病原大腸菌O25(+) 3歳男  
プール熱散発  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- ムンプス、ヘルパンギーナが流行しています。  
【三好町 三好町民病院】
- ヘルパンギーナ流行中  
【西尾市 やすい小児科】
- ヘルパンギーナ相変わらず流行しています。  
【西尾市 山岸クリニック】
- 12歳女 サルモネラO9  
1歳女 サルモネラO8+病原大腸菌O1  
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】

- アデノ (+) 4歳男  
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 病原大腸菌O25 2歳男  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- ヘルパンギーナまだ流行しています。  
【碧南市 永井小児科クリニック】
- 2歳女 アデノウイルス感染症  
5歳男 カンピロバクター  
【幸田町 とみた小児科】

### 東三河地区

- ヘルパンギーナ流行中  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- マイコプラズマ肺炎 7歳男  
【田原市 かわせ小児科】

## 一～三類感染症の発生状況 — 愛知県(名古屋市を除く。) —

- 腸管出血性大腸菌感染症 [＜関連リンク＞  
\(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2\\_4\)](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	豊田市	46	男	7/3	7/5	7/9	O157 VT1 (+) VT2 (+)
2	瀬戸	32	女	7/7	7/8	7/11	O26 VT1 (+)
3	知多	72	男	7/9	7/10	7/12	O1 VT1 (+)
4	知多	23	女	7/9	7/10	7/13	O157 VT1 (-) VT2 (+)
*	一宮	3	男	7/15	7/17	7/20	O157 VT1 (-) VT2 (+) 29週報告分

## 四類・五類（全数把握）感染症の発生状況 — 愛知県(名古屋市を除く。) —

- レジオネラ症2例 (61歳、62歳)  
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/leg.html>

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

夏休みに入った学生諸君で町は賑やかになり、灼熱の日差しの中では街路樹の夾竹桃や公園の向日葵（最近はミニサイズが目立ちます）が輝いています。いつも貴重な情報を有難うございます。7月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：城北病院渡辺先生からは外来患者は季節柄のためか少なめで時間外数もアデノ感染症よりヘルパンギーナの方が多く感あり、急性胃腸炎もまだパラパラあり細菌性胃腸炎はあまりなく、マイコプラズマ肺炎が横這いで散見、手足口病や髄膜炎はほとんどない、千種区今枝先生からは 8 歳男のムンプス、6 歳女の手足口病、4 歳女のヘルパンギーナが各 1 例、6 歳男のかぜ症候群で 4 日弛張熱の例あり、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎 1 名（病原性大腸菌 O-1）、A 群溶連菌咽頭炎 1 名（2 か月男で要入院）、水痘の要入院兄（口内炎、気管支炎併発）、妹（咽頭炎併発）例、マイコを含む肺炎・気管支炎の入院 6 名、咽頭アデノウイルス感染症 1 名（入院）、突発疹 1 名と、特に目立った傾向はなかった、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染症が少ないなか、ヘルパンギーナが多発中で、感染性胃腸炎と A 群溶連菌感染症、手足口病、ムンプスがそれぞれ散発中、常滑市民病院上田先生からは感染性腸炎（要入院例あり）、水痘、ムンプス、溶連菌感染症、ヘルパンギーナや突発疹（脱水による入院あり）が目立ち、マイコプラズマ肺炎の入院等も目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはヘルパンギーナが目立ち熱性痙攣で要入院例あり、加茂病院梶田先生からは A 群溶連菌、ムンプス、水痘の流行が続きインフルエンザは消失、サルモネラ、カンピロバクターなど細菌性腸炎が少し増加、マイコプラズマ肺炎がやや減少、碧南市永井先生からはヘルパンギーナ流行、ムンプス、水痘も目立つ、豊橋市からはヘルパンギーナが目立ち水痘、ムンプスありとのお手紙でした（市内長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2005 年 6 月 28 日（80 巻 25 号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8025/en/>

☆ 80 巻 1～25 号索引（事項別、国別）

☆ 6 月 17～23 日届出。コレラ：トーゴ、日本（輸入例）、米合衆国。

2005 年 7 月 1 日（80 巻 26 号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8026/en/>

☆ 新生児破傷風の死亡情況。アフガニスタン：内戦で母子保健活動は劣悪化し新生児死亡が大きな問題となっている。本報は 04 年 5～6 月、同国政府が WHO とユニセフの支援で実施した国内 3 州における新生児破傷風（NT）死亡発生と母親ならびに妊娠可能な女性に対する破傷風トキソイド（TT）接種情況、乳児の DPT 三混接種率、助産婦による出産の調査結果の概略である。1) 現状：全国を母子保健活動のレベルから 3 群に分類すると a) 保健サービス良好な州、b) ある程度普及している州、c) 普及していないか、季節により調査不可能（筆者注：遊牧民の季節的移動と交通事情）ないし内戦状態の州があり、04 年の全国調査では妊婦の TT 2 回以上接種率が b) 地区で 10～29%、c) 地区で 2～34%、DPT 接種率が b) 地区で 2～55%、c) 地区で 2～65%、助産婦による出産が b) 地区で 1～13%、c) 地区で 1～29%であった（県

によるバラツキが大きい。県別の詳細な表あり)。2) 今回の調査結果：全国から調査可能であったバダクシャン州（東北部）、カンダハール州（南西部）、クンドゥーズ州（北部）の32県を選択、WHOの調査方式に準じ、調査実施者の訓練はWHOとユニセフのスタッフが3州で個別に（首都でまとめて実施、失敗）担当者を教育し担当者は各県担当者と責任者を訓練、現地調査者はEPI（予防接種拡大計画）などの経験者男女各1名のペアで構成、ダリー語かパシユトゥ語による面接をWHO・ユニセフの支援（自動車または家畜に乗って）で実施。結果のチェックと必要に応じた路線変更を責任者が実施。3) 結果の概略：①三州合計で訪問世帯数合計8,869世帯、68,372名（1世帯当たり7.9名）。出生数4,928、面接した母親1,510名、面接した妊娠可能年齢女性3,080名。②新生児死亡は記録を責任者がチェック。新生児死亡は65名、うちNTは19名であった。死亡の中央値は生後13日、患児の母親のTT接種歴は63%がゼロ、26%が1回だけであり、患児母親の妊婦検診受診率は74%がゼロ、26%が1回だけであった。

☆ 6月17～23日届出。コレラ：カメルーン、ギニアビサウ、モザンビーク、ジンバブエ。ペスト：チベット。

### 2005年7月21日（80巻27号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8027/en/>

☆ 鳥インフルエンザ。ベトナム：05年6月後半の2週間、ベトナム保健省の要請に応じてWHOは国際専門家チームを派遣、①最近の実験室内診断と疫学調査結果の評価、②世界的流行（パンデミー）に関して、現在出されている注意喚起のレベルを増強すべきかどうかの検討、を依頼した。専門家チームは米、英、日、カナダ、豪、香港で経験を積んだ専門家メンバーで6月29日に予備的報告を提出した：①注意喚起のレベルは04年1月以降変わっていない。感染例数は増加中であるが人から人への伝播がパンデミックになっているという根拠はない。②今後さらに詳細な疫学調査と報告、実験室内検査法の進歩にあわせた技術移転が必要であり、鳥に感染が拡大している事実からも今後さらなる監視、警告が必要である。

☆ ポリオ。アンゴラ：05年6月24日保健省報告（同国では01年以来発生ゼロ）。生後17か月女。ポリオ生ワク接種歴あり。05年4月25日、発熱と両下肢麻痺。首都ルアンダの市街地居住。1型野生株、遺伝子解析でインド由来株。家族に渡航歴なし。7月29日～31日全国生ワク一斉接種、8月にも実施予定。サーベイランス強化。

☆ ポリオ。インドネシア最新情報：05年7月5日、新規1例確認、累計100例となった。スマトラと中央ジャワで最近確認された例は5月31日～6月2日と6月29日の絨毯爆撃（m o p - u p）緊急接種地区以外で発生しておりスマトラと中央ジャワで緊急接種予定、6月26日には中央ジャワで5歳以下小児78,000名に接種された。詳細は下記URL参照。  
<http://www.polioeradication.org/content/pressreleases/Indonesiapolio5July2005.pdf>

☆ ポリオ根絶。インド。04年1月～05年5月。05年末の野生株根絶を目標とした最近の状況：①急性弛緩性麻痺（AFP）サーベイランス（目標は非ポリオAFP届出数が15歳以下の人口10万当たり1.0以上、適切な検査材料が80%以上の例から搬入されること）が不十分なのは全人口の1%未満の地区となった。②野生株陽性ポリオ患者数は04年は134例で127例が1型、7例が3型。05年1～6月の間は18例（ビハール州8例、ウタルプラデス州7例、他3例）と減少、ムンバイのエンテロウイルスセンターで遺伝子解析実施、遺伝子型集積性は減少中。③予防接種：04年4月、インド政府はWHO・ユニセフと協力して野生株常在地区の定期接種強化、同時に04年8月に8回のSIA（Supplementary Immunization Activity、全国接種5回と一部地区接種を3回）を実施、05年4月には未接種児がウタルプラデス州で5.6%、ビハール州で3.6%となっており、05年4～6月には1型単価生ワクチン接種が常在地区で開始された（ワクチン接種状況と月別患者発生数の図あり）。

☆ 7月1～7日届出。コレラ：マリ、ギニアビサウ、セネガル。







愛知県感染症情報

2005年第1週～第28週(平成17年1月3日～平成17年7月17日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(成人麻しんを除く)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
愛知県(名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	118	80,233	1,706	5,883	26,352	9,123	1,688	654	3,138	32	27	9,265	16	5,772	13	754	5	4	152	0	0	
総数(名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	100	63,768	1,261	4,097	18,853	7,309	1,404	520	2,398	25	15	7,319	10	4,493	8	607	5	4	152	0	0	
名古屋市	70	70	11	14	1	18	16,465	445	1,786	7,499	1,814	284	134	740	7	12	1,946	6	1,279	5	147						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	14	4,170	347	470	957	358	36	32	139	1	2	510	2	178				46			
海部	津島	7	7	2	2	1		3,211	16	116	1,406	289	57	47	87		1	451		433				7			
尾張中部	師勝	4	4	1	1			2,064	1	120	595	209	16	19	52		1	303		82							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	1	4,491	101	283	1,507	385	222	23	207	2	1	505		367	1	56	1				
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	18	7,534	253	338	1,190	535	96	28	243	6	6	599	1	217							
	江南	6	6	1	2		3	2,731	114	466	1,447	548	86	36	254			578	1	421							
知多半島	半田	6	6	1	2	1	5	2,950	74	159	807	334	153	28	104	1		80	1	210					1		
	知多	7	7	2	2		7	3,766	100	402	984	338	34	27	179		1	351	1	301							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	5	6,131	35	303	477	582	108	32	311	4		759		505	2	41					
	衣浦東部	13	13	2	4	1	6	9,033	37	345	1,548	1,000	91	123	228	1	1	715	2	476				10			
	西尾	5	5	1	2	1	12	1,893	17	170	637	392	139	30	101			363		124							
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	8	4,651	29	388	4,214	667	62	39	201	9	1	868		393		81	3	3	63		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	1	6,865	102	338	1,733	480	95	30	181			583		132	2	76	1		22		
	豊川	9	8	1	2	1	20	3,616	31	188	1,320	1,148	205	26	108	1	1	638	2	647	3	25		1	3		
東三河北部	新城	2	2			1		662	4	11	31	44	4		3			16		7							

愛知県感染症情報

2005年第1週～第28週(平成17年1月3日～平成17年7月17日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	100	63,768	1,261	4,097	18,853	7,309	1,404	520	2,398	25	15	7,319	10	4,493	8	607	5	4	152	0	0
～6ヶ月	50	319	10	9	268	183	18	2	157	7	1	73		3		6					
～12ヶ月	22	958	55	23	1,206	446	93	28	1,339	2		499	1	19		5					
0歳																	2		4		
1歳	15	3,279	218	127	2,817	1,221	349	30	828	2	2	1,581	2	197		19		1	21		
2歳	10	3,675	162	217	1,952	1,191	251	25	66	2	3	1,265	1	403	1	22			23		
3歳		4,334	273	456	1,743	1,528	261	50	7	2	1	1,333	1	744	1	33	1		21		
4歳	1	5,537	228	758	1,579	1,261	187	74		1	1	1,041	1	949		19			14		
5歳	1	5,473	131	842	1,346	730	126	72			3	733	2	767		20					
6歳	1	5,343	77	564	971	329	43	65		2		355	1	554	1	12					
7歳		4,021	34	368	724	166	23	55			2	186		288		4					
8歳		3,659	19	216	592	81	13	43		1		101		189		9					
9歳		3,188	16	160	489	45	11	34				61	1	114		4					
5歳～9歳																			39		
10歳～14歳		5,826	19	198	1,168	83	7	33	1	1	1	67		170		16			11		
15歳～19歳		992	1	15	413	10		1				4		11	1	9			1		
20歳～			18	144	3,585	35	22	8		5	1	20		85			2				
20歳～29歳		4,271													1	86		1	2		
30歳～39歳		6,135													1	170			4		
40歳～49歳		2,631														54		1	2		
50歳～59歳		1,857													2	46		1	2		
60歳～69歳		1,149														44			4		
70歳～																29					
70歳～79歳		684																	3		
80歳以上		437																	1		